



⑧ サギのなかまを見つけよう

The Search for Herons

—水辺の自然調査プログラム—

この活動のねらい

サギのなかまは、水辺にすむ大型の鳥です。長い首をじょうずに使い、水中や水辺の小動物をつかまえて、エサにします。よくみると、すがたや形の違う何種類かのなかまがいることがわかります。ここでは、よく見かける6種類のサギについて、その区別のしかたや行動について調べて、水辺の自然に親しんでみましょう。

調べる生きものについて

1 サギのなかまとは？

サギのなかまとは、分類上、コウノトリ目サギ科の鳥をさし、日本ではいままでに19種類が確認されています。湖、沼、川、^{しっ ち}湿地、^{ひ がた}干潟、水田などで観察できます。どのサギも、首、くちばし、あしが長いのが特徴です。

2 よく見かけるサギは6種類

飯沼川周辺でよく観察できるのは、白いからだのダイサギ、コサギ、灰色をしたアオサギ、紺と白色をしたゴイサギです。春から秋にかけては、白いチュウサギやオレンジ色（アメ色）のアマサギもふつうに見かけます。

3 サギのくちばしや羽は、季節によって色が変わる

サギ類のくちばしの色や羽の色は、季節により変化します。春から夏にかけて繁殖の^{はんしよく}ためにかざり羽が出たり、派手な色になった状態を夏羽、冬の間の^{ひ かく}比較的地味な羽を冬羽といいます。それと同時に、くちばしの色が黒から黄色に変わるものもあります。サギ類の種類を特定するためには、からだの特徴と、季節を合わせて考えなければなりません。



「シラサギ」という鳥はいない！

^{いっ ぱん}一般的な呼び名で「シラサギ」という名前を耳にしますが、これは羽の色が白いサギのなかまをまとめてよぶときに使います。ですから「シラサギ」という名前のサギはいません。ダイサギ、チュウサギ、コサギは1年中白い羽色をし、アマサギが夏の終わりから秋にかけて白くなります。この4種はととてもよく似ていますが、なれてきたら見分け方に^{ちやうせん}挑戦してみてください。

調べ方

準備するもの

・ 双眼鏡^{そうがんきやう}

・ フィールドスコープ

・ 野帳

・ 地図

・ 筆記用具

・ 時計

・ 野鳥図鑑^{ず かん}



1 出かける前に調査地をきめる

地図をみて川や水田，湿地の場所を確認しましょう。なるべく，見はらしの良い場所を選びましょう。

2 サギのなかまを観察する。

- ① 人の姿を見ておどろくと逃げてしまいます。大声を出したり，急に動いたりするのはやめましょう。
- ② 湖，沼，川，湿地，干潟，水田など水の豊富な場所では，必ずと言っていいほどサギのなかまを見かけます。
- ③ 見つからないときは，双眼鏡などで遠くまで見わたして，あせらずに探してください。
- ④ 見つけたら，サギ類の見分け方のポイントを参考にして，どの種類かを判定しましょう。

見分け方のポイント

体の色

白 → ダイサギ，チュウサギ，コサギ，アマサギ（秋）

灰色または紺色 → アオサギ，ゴイサギ

オレンジ色 → アマサギ

あしの指：飛び上がった時，歩いているときに指の色を見る。

黄色 → コサギ（ドロが付いて黒に見えるときがあるので注意する。）

黒 → その他のサギ

くちばしの色

黄色 → コサギ以外のサギ

黒 → 冬ならコサギの可能性大

くちばしと首の長さ

比較的長い首と長いくちばし → ダイサギ，コサギ，アオサギ

比較的短い首と短いくちばし → チュウサギかアマサギ（冬羽）

3 サギの動きを記録する。

- | | | | |
|---------|--------|------|--------|
| ① 日時 | ② 天気 | ③ 時間 | ④ 観察場所 |
| ⑤ 観察した人 | ⑥ 鳥の種名 | ⑦ 行動 | ⑧ その他 |

4 記録を見比べる。

- ・記録をもとに，どんな場所にどの種類のサギがあらわれやすいかを調べましょう。
- ・できるだけたくさんの観察例を比べて，サギの生活を考えてみましょう。
- ・季節によって見られるサギの種類に変化がみられるか比べてみましょう。

参考となる資料

ミュージアムパーク茨城県自然博物館．1996．博物館での野外シリーズ1 菅生沼の水辺の鳥．ミュージアムパーク茨城県自然博物館．
中村登流・中村雅彦．1995．原色日本野鳥生態図鑑（水鳥編）．保育社．

【石塚(剛)】

ダイサギ 全長90cm

首とくちばしがすらりと長く、白色のサギでは最大。比較的、水の深い所を好む。

夏：くちばしが黒い



冬：くちばしが黄色い



チュウサギ 全長68cm

他の白色のサギと比べて、首が太くて短くみえる。コサギと比べても短いくちばしのせいで、頭が大きくみえる。浅い水辺を好む。

夏：くちばしが黒い



冬：くちばしが黄色い



(左奥：コサギ，右前：チュウサギ)

コサギ 全長61cm

あしの指が黄色いのが特徴^{とくちょう}。くちばしは一年中黒いので、冬には見分けるのが容易。夏には白いサギでは唯一、頭から長いかざり羽（冠羽）がでる。

夏：かざり羽がでる



冬：くちばしが黒い



アオサギ 全長93cm

灰色をした大型のサギ。くちばしが太い。

**ゴイサギ** 全長57cm

紺、灰色、白色のずんぐりとしたサギ。赤い目が特徴。

**アマサギ** 全長50cm

オレンジ色のサギ。秋には白色になる。



◆観察記録例

見られた種類(見られたら○)

種名	結果	一度に見た最大の数	何をしていたか
ダイサギ	○	3	水路の流れの中に立って、エサをとっていた。
チュウサギ			
コサギ	○	1	水路が飛びすって、行ってしまった。
アオサギ	○	1	田んぼのあぜにじっと立っていた。
アマサギ	○	5	群れで、水田を歩いていた。
ゴイサギ			